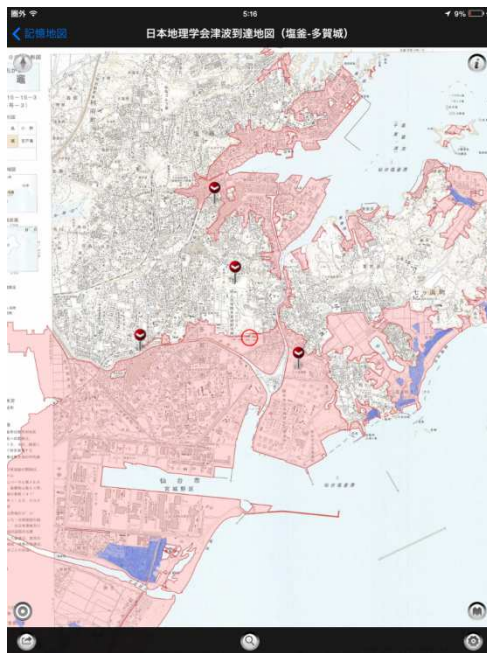


“記事ぶらり” 作成マニュアル

(宮城県立多賀城高等学校用)



新聞記事や写真・動画を載せた

オリジナルハザードマップを作ってみよう！

2015年6月2日

作成：伊藤 智章

静岡県立裾野高等学校教諭

国際地図学会評議員：学校 GIS 教育専門部会主査)

【1】地図画像を調達する

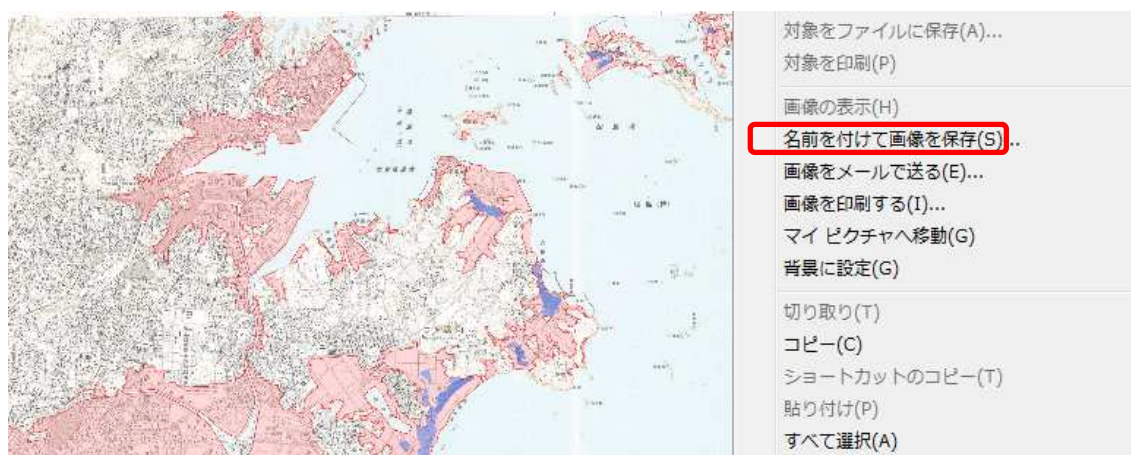
★地図は何でもいいですが、サンプルに地形図画像を使います

①津波防災マップ（日本地理学会）を開く

<http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/20110311/map/index.html>

②地形図画像をダウンロードする（ここでは「塩竈」を選択）

石 巻	・折立(3) ・陸前相川(3) ・飯野川(2) ・雄勝(3) ・大須(2) ・鹿島台(2) ・広瀬(2) ・石巻(3) ・女川(4) ・出島(3) ・松島(2) ・小野(4) ・渡波(3) ・荻浜(3) ・寄磯(3) ・塩竈(4) ・宮戸島(3) ・網地島(3) ・金華山(2)
仙 台	・仙台東北部(4) ・仙台東南部(2) ・仙台空港(2) ・荒浜(3)
	・山下(2) ・新地(2) ・相馬中村(3)



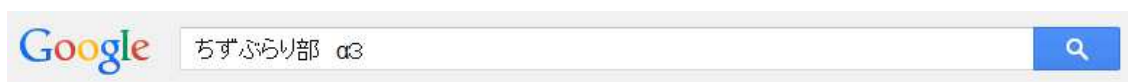
【2】「震災記憶地図」に搭載する。

★本来の作業サイトから作業を行うと、フルに一般公開されます。今回は、新聞記事など、著作権があるものを扱いますので、限定公開するシステムを作ってもらいました。

①作業サイトを開く

a 「ちずぶらり部 α 3 版」を開く

<http://alpha3.chizuburari.com/maps>



公開地図一覧



★多賀城高校用のログイン ID を作ってもらっています

ユーザー：※※※※※

Pass： ※※※※

b 「部活一覧」 → 「防災科学マップ部」 を開く



② 「地図のアップロード」 を選択する。

地図のアップロード

③保存した地図を、作業サイト上にアップロードする。

1.UPLOAD 2.INFO 3.MAPPING 4.LANDMARK

ちずぶらり部によこそ！

ちずぶらり部は、あなたの手元にある絵地図や古地図などをデジタル化して、「まちあるき」「まちしらべ」「まちづくり」などに活用するための実験サービスです。作成したマップコンテンツは「ちずぶらり」アプリに追加ダウンロードして活用することができます。

対応ちずぶらりアプリ一覧ダウンロードページ
※現時点ではiOS版 (iPhone, iPad) にのみ対応しています。

【マップコンテンツ作りの3ステップ】

Upload a map

↑

AD 2.INFO 3.MAPPING 4.LANDMARK

ファイルのアップロード

アップロード先部活

防災科学マップ部

参照...

場所名

おおよその地名を入力してください

Upload

↓

ファイルのアップロード

アップロード先部活

防災科学マップ部

D:\0602多賀城\日本地理 参照...

場所名

宮城県多賀城市

Upload

アップロードしたい
地図を選ぶ

④アップロードが完了したら、「2 INFO」画面が開くので、必要事項を記入する。

★生徒個々に違う地図をアップロードしてもらうことを念頭に置きました。
「作者」欄に、HRNO と氏名、アップロードした地図名等を書いてもらおうと思います。

1. UPLOAD 2. INFO 3. MAPPING 4. LANDMARK ☒ Private SAVE Saved at 2015/05/29 05:15 by ふじふり部 PUBLISH 上級者向け機能 ヘルプ

日本語 ▼

タイトル
日本地理学会津波到達地図(塩釜-多賀城)

タグカンマ(,)区切り
津波, 多賀城, 日本地理学会, 地形図

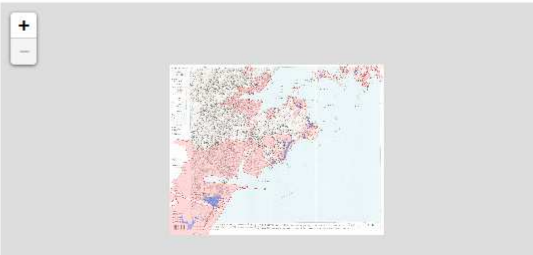
ライセンス None (All rights reserved) ▼

公式タイトル 津波到達範囲地図

作者 伊藤智章(静岡県立裾野高校教諭)

作成時期 2015年6月2日

説明 作業用のサンプルです。



【3】 位置合わせをする

① 「MAPPING」 を選択

2. INFO 3. MAPPING 4. LANDMARK ☒ Private SAVE Save

日本語 ▼

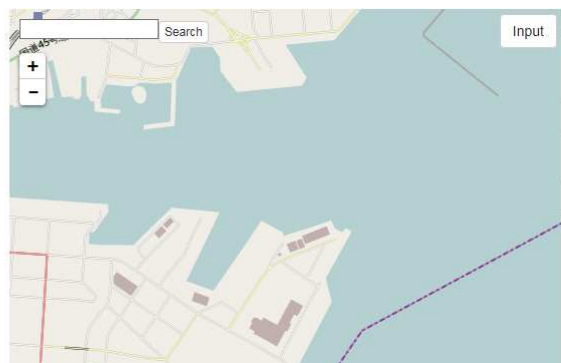
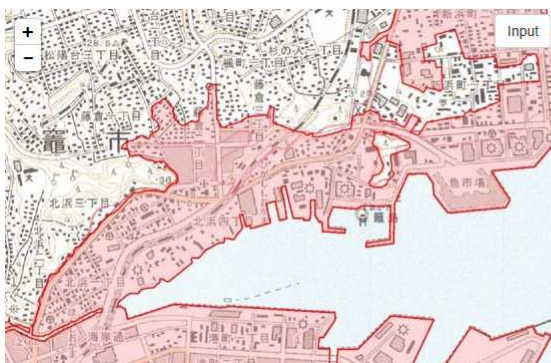
タイトル
日本地理学会津波到達地図(塩釜-多賀城)

タグカンマ(,)区切り
津波, 多賀城, 日本地理学会, 地形図

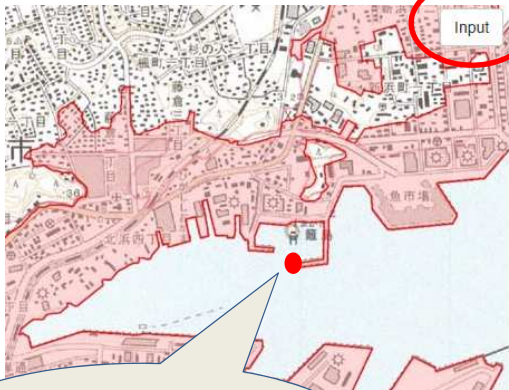
ライセンス None (All rights reserved)



②左の原図と右の Web 地図 (Open street map) との間で、共通の場所となる目印に印をしていく (10 か所以上。たくさんポイントを打った方が精度が上がる)。



①まず Input を押す



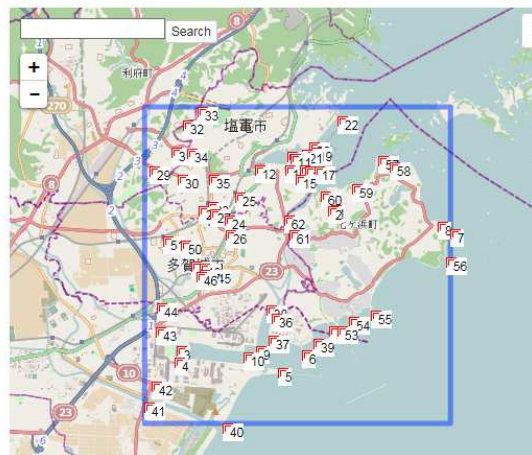
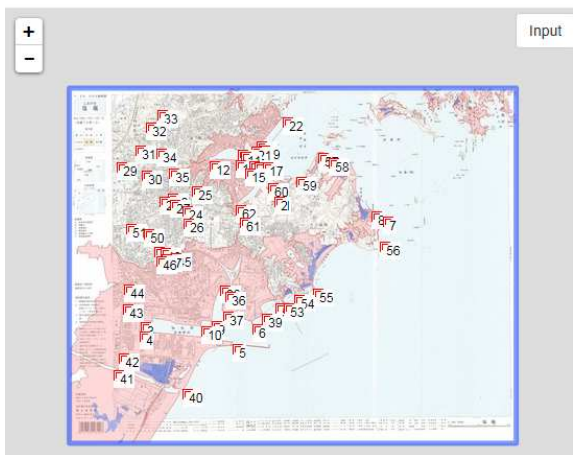
②目印になる地点を
選択（赤い点が出る）

③Input を押して



④対応する地点を
選択する。

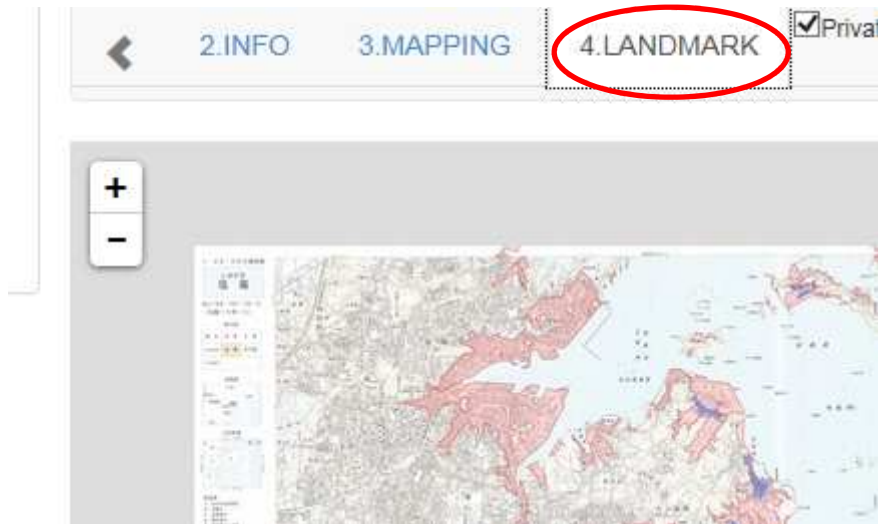
③わかりやすい沿岸部から始めて、内陸部（駅や交差点を目印にする）もまんべんなく点を打っていく。ある程度点が打てたら「SAVE」ボタンを押す。



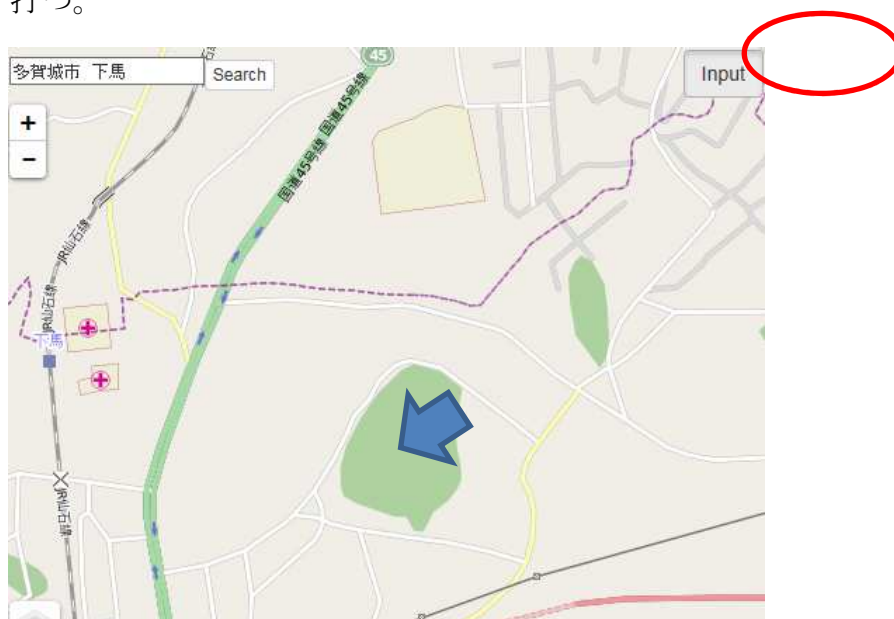
【4】ランドマーク（写真や記事）の挿入

地図上にピンを立てて、写真や新聞記事へのリンクを貼ります。

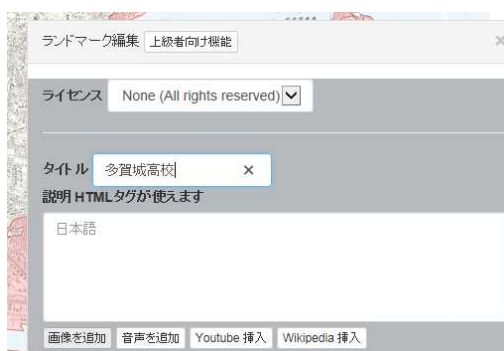
(1) LANDMARK のタブを選ぶ。



(2) 写真や記事を載せたい場所を選び、右側（Open street map）上に点を打つ。



(3) タイトルを書き、写真を選択する。





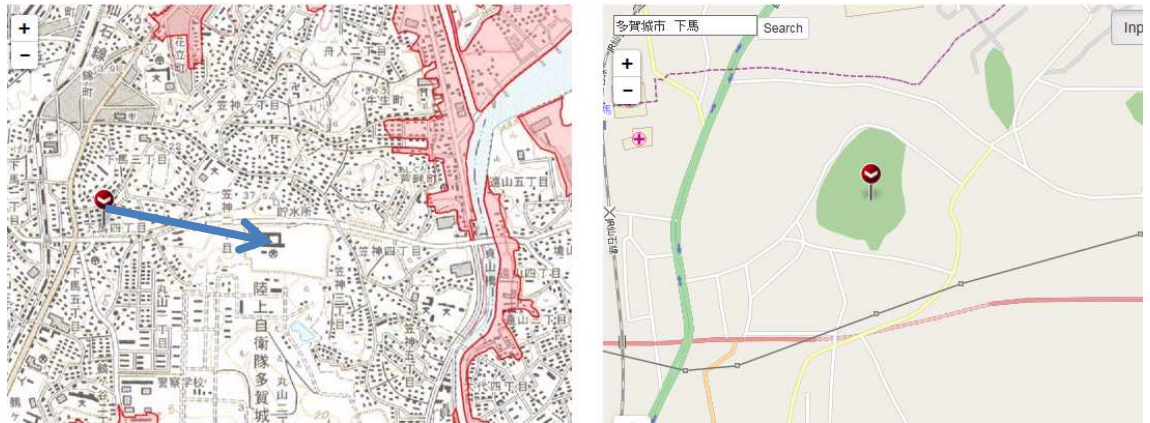
名前	更新日時
paper03-1.jpg	2015/05/30 6:04
paper04.jpg	2015/05/30 5:57
paper04-01.jpg	2015/06/01 4:15
paper05.jpg	2015/05/30 5:57
paper05-01.jpg	2015/06/01 4:17
tagajo-hi.JPG	2015/05/30 5:58
tagajo-hi01.jpg	2015/06/01 4:17
tagajomap.png	2015/05/28 5:19
tagajomap0	2015/05/28 5:24

項目の種類: JPEG イメージ

(4) プレビューで確認し、「決定」を押すと、地図上にピンが立つ。



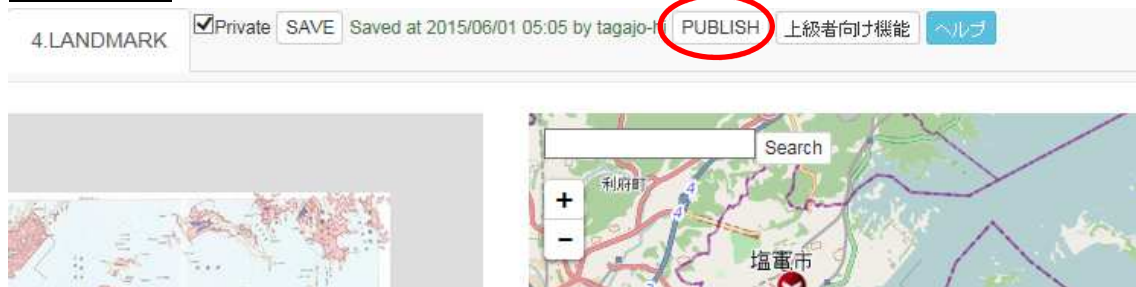
- (5) 左の地図と比べてみて、ピンの位置がずれているようなら修正し、最後に「SAVE」ボタンを押す。



【5】iPad への転送と確認

ある程度作業が出来たら、iPad に転送してみましょう。

- (1) Private (関係者以外閲覧不可) にチェックが入っていることを確認して、**PUBLISH** ボタンを押す。



- (2) iPad を開き、この作業サイトにアクセスする。
(以下のリンクに触れるとよい)

<http://alpha3.chizuburari.com/maps>



iPad で開いたところ
「アプリで見る」を選択する。

(2) ダウンロード先を「震災記憶地図」にする。



(3) ダウンロードが始まる。



(4) 「記憶地図」内に格納されていることを確認する。



(5) iPad 上でマップと埋め込み記事を試してみる。



これで完成です！

【ここから Web 版オリジナル】

多賀城高校 3 年生のみなさんへ・・・実習を振り返って

実習お疲れ様でした。慣れない環境の中で、たくさんのギャラリーや報道陣に囲まれて、さぞや緊張したのではないかと思います。

担任の菅原先生から学校に電話を頂いたのが 4 月下旬（23 日）。最初は、先生がうちの学校に「秋ぐらいに授業を見学しに行きたい」とのお尋ねから始まりました。ただ、「総合学科」で 6 種類の授業を担当しており、うまく希望の日に「地理」があるかどうかわからないこと、多賀城高校で iPad が 40 台調達できるということ（うちは、自分の個人研究費でやっと 10 台が入り、ネット接続すらできていない状態です）もあり、「同じ出張費をかけるなら、自分がお伺いします」ということで、この日に至りました。

震災後から、宮城県にはご縁があり、高校の先生の研究会にゲストで呼ばれて今日やった実習と同じようなことをやったり（2013 年）、生徒を連れて栗原市の栗駒山麓（2008 年宮城・岩手内陸地震で巨大地すべりが発生）と石巻市にフィールドワークに行ったり（2014 年）、東北大学で「震災記憶地図」の一般向けワークショップをしたり（2014 年）しています。2 年で 4 回来ると、「勝手知ったる仙台駅」になっています。

冒頭でもお話したように、皆さんの学校は、来年「勝負」に出ます。学科の新設というのは、作る方としても大きな“賭け”であり、巨大なプロジェクトです。何年も前から準備をして、まだ見ぬ新入生を思い浮かべながら、ありとあらゆることを決めます。私自身、北海道の私立高校で教員をしていた時に、附属中学校の立ち上げを間近で見っていましたし、静岡県に帰ってから最初の勤務校が「廃校⇒移転⇒新装開店」の修羅場に遭遇しました。

新しい学科を作るのは、その時の在校生と教員だけではありません。保護者や卒業生、地域の方、外部の専門家、色々な方が関わって「育てて行く」ものです。今日、多賀城高校に初めてお邪魔しましたが、生徒さんはもとより、先生方もみなさんにこやかに「こんにちは！」とあいさつして下さり、「あ、これならうまくいくんだろうな」と確信しました。まだ 41 年しか生きていませんので、ベテランの方々よりは経験は少ないですが、普通の先生よりも多少「外の方と組んでプロジェクトをまわす」経験をさせてもらっているのです、なんと

くその辺の勘は働きます。

本当は、皆さんの作った地図を iPad に移し替えたり、更に外に持ち出したり（屋上に持ち出すだけでも結構楽しめます）したかったのですが、残念ながら「パソコン実習」で終わってしまいました。また機会があれば、第2回戦、第3回戦をしたいなと強く思っています。「授業」の形では厳しくても、希望者を対象に市民の皆さんと組んでのワークショップをしても面白いのではないかと思います。・・・「津波浸水高表示板」の設置の記事を Web サイトで拝見しました。あれを一つ一つ地図に落として行くだけでも「多賀城高校ブランド」の地図になりますね。

最後に、手前味噌ではありますが、私のしょーもない余談の端々に出て来た話題が載っている資料へのリンクを貼っておきます。「いとちり」という名のブログを 2006 年からやっています。よろしかったらご覧ください。

本日はどうもありがとうございました。



【リンク集】

<アプリ関係>

○iPad iPhone 用アプリ「震災記憶地図」

<http://eq.stroly.com/about>

○アプリ「ちずぶらり」シリーズ

<http://atr-c.jp/burari/>

○富士山周辺の「観光地図には絶対載らない」

(けれどもそれなりの需要がありそうな) ネタを満載したアプリ

「ふじぶらり」

・・・海外からも密かに人気

<http://www.atr-c.jp/burari/product/theme/fuji.html>

○景色に水面が・・・。看板にかざすとメッセージが・・・。

AR (拡張現実) で学ぶ石巻の震災と街づくり

「石巻津波伝承 AR」

http://ishinomaki-support.com/category/memory_cat/tsunami-ar/

<いとちりと東日本大震災>

「高校地理教師」ができたこと、やったこと。

○「警戒態勢」入り (いとちり：2011 年 3 月 12 日)

http://ishinomaki-support.com/category/memory_cat/tsunami-ar/

○「海岸線データ」を使いやすいファイル形式に変換して公開

(いとちり：2011 年 3 月 13 日)

<http://itochiriback.seesaa.net/article/190406053.html>

○簡単 GIS (地図描き) ソフト「地図太郎」の被災地向け無償配布を受け、

「ボランティア向けマニュアル」を作成 (いとちり：2011 年 3 月 14 日)

<http://itochiriback.seesaa.net/article/190648340.html>

○マニュアルその 2 を執筆 (いとちり 2011 年 3 月 17 日)

<http://itochiriback.seesaa.net/article/191018748.html>

○国土地理院が緊急撮影航空写真を公開。使い方マニュアル (3) を執筆

(いとちり：2011 年 3 月 20 日)

<http://itochiriback.seesaa.net/article/191564230.html>

○「地図太郎」マニュアルその4「住所録から分布図を描く」執筆

(いとしり：2011年3月22日)

<http://itochiriback.seesaa.net/article/191999367.html>

○空中写真取り扱いマニュアル改訂版

(いとしり：2011年3月26日)

<http://itochiriback.seesaa.net/article/192612679.html>

●アプリ「震災記憶地図」と私の関係のヒストリーについては、以下の雑誌記事にまとめてあります。

「震災記憶地図」 「月刊 地理 2012年5月号」

<http://itochiriback.seesaa.net/article/268253366.html>

カラー版

<http://itochiriback.seesaa.net/article/268351750.html>

<「デジタル地図帳」の未来>

大量の地図を持ち歩いて、用途に応じて切り替えられる

・・・「これは、地図の iPod だっ！」と叫び続けてはや何年。

学会等での発表です（カテゴリ「学会発表」へのリンク）

<http://itochiriback.seesaa.net/category/7465425-1.html>

iPadを利用した
「デジタル地図帳」のアプリの
開発と運用
一次世代地理教育教材としての普及を視野に一

@仙台 & 名取

2013年8月25日
地理教育学会(佐賀大学)
伊藤 智章(静岡県立裾野高校)

1 of 57